

【斜里げいぶん支援事業】

国際宇宙ステーション・きぼうでの芸術利用／松井紫朗

アーティスト・イン・シリエトク vol.9

知床で宇宙の  
ふしぎに触れよう

知床  
自然センター  
+  
フレペの滝  
編

# 手に取る宇宙 in 知床

©松井紫朗/JAXA

2018.2.17 [±] 13:00 start

日本 / 北海道 / 知床

知床自然センター + フレペの滝

北海道斜里郡斜里町遠音別村岩宇別531 Tel.0152-24-2114

○対象：小学3年生以上～一般（小学生は保護者同伴） ○定員：50名程度

○参加料：入場券（500円）を知床自然センター、ゆめホール知床で販売中



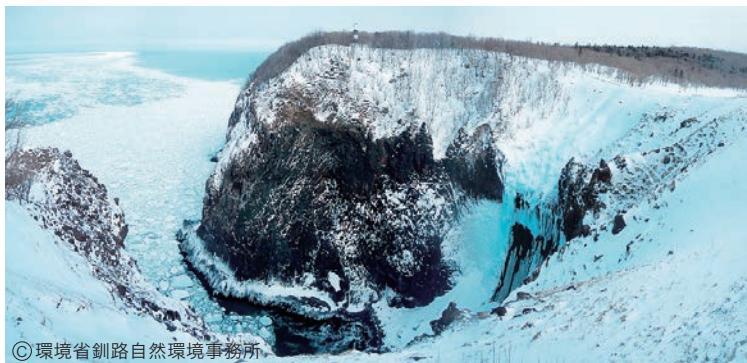
◀もしくはインターネットからお申し込みください

<http://kokucheese.com/event/index/502135/>

<http://www.facebook.com/Meesage.i.a.B/>

主催：アーティスト・イン・シリエトク（事務局 中山 090-7516-6786） 企画：NPO 法人 CAPSS

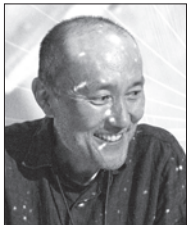
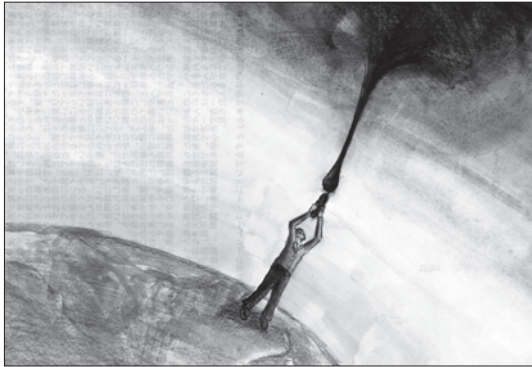
協力：公益財団法人 知床財団 / 国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構（JAXA） / アメリカ航空宇宙局 / 株式会社インフォート  
京都大学学術情報メディアセンター / 森幹彦・元木環 / 京都市立芸術大学VD 研究室 / 辰巳明久・松原仁 / Miceal Whittle  
Charles Worthen / 外山光男



©環境省釧路自然環境事務所



## 手に取る宇宙 "Message in a Bottle" 地上ミッション in 知床



### 松井 紫朗 (まついしろう)

1960年奈良県天理市生まれ。  
1983年の初個展以来、多様な  
素材、ユーモアと理知を備え  
た独自の立体造形で、1985年  
には兵庫県立近代美術館の

「ART NOW85」展に選出されるなど、関西  
ニューウェーブを担う若手のひとりとして注目を  
集める。1991年よりシリコンラバーを使った半立  
体、立体作品の制作を開始、ドイツをはじめ海外  
でも展覧会が開催される。

1997年よりテント用素材を使ったトンネル状の大  
作を発表、以後、スパンデックスやリップストップ  
と呼ばれるナイロン素材のバルーンを使った作  
品を展開。自然科学の原理を応用した作品等で、  
人間の知覚や空間認識に揺さぶりをかける。

JAXAとの共同実験では宇宙での庭作り「宇宙  
庭」や容器に詰めた宇宙空間の持ち帰り「Message  
in a Bottle」を試みる。

2013年に札幌宮の森美術館で個展を開催、2017  
年に札幌国際芸術祭へ出品。

現在、京都市立芸術大学教授。

手に取る宇宙とは？ <http://www.m-in-a-bottle.org/>

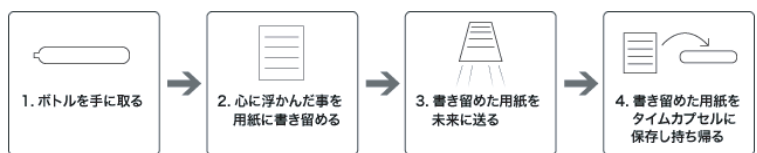
「手に取る宇宙」は、JAXA(国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構)で実施した研究でありアートプロジェクト。彫刻家の松井紫朗が進めたこのプロジェクトは、2010年～2013年までの4年間、国際宇宙ステーション(ISS)の「きぼう」内で行われました。ガラスボトルに宇宙のかけらを詰め込み、地球へ持ち帰るというミッションは、1度の失敗を経て、2度目の挑戦で成功。宇宙飛行士やたくさんの人々の協力のおかげで、ガラスボトルは私たちの地球へ戻ってきました。

このたび、そのガラスボトルを世界自然遺産「知床」で触れられる時間が生まれます。知床の森と海の魅力がぎゅっとつまったフレベの滝を散策し、知床自然センターの大スクリーンを使って、宇宙とのつながりを人々に感じてもらいたい！という思いのもと、宇宙を届けます。

できるだけたくさんみなさんに、この「手に取る宇宙」体験をしてもらい、そして、そこで感じたこと、考えたことを書きとめてもらうのが狙いです。それらはアーカイブとして「手に取る宇宙」の公式サイトに蓄積され、未来の人々に向けたメッセージとして伝えられていくこととなります。流氷がきている2月の知床で、宇宙の物語を感じてみませんか？

### 2.17.sat timetable ※天候により変更あり

- 12:30 知床自然センター内レクチャールームで受付
- 13:00 プロジェクトや宇宙のエピソードを語るレクチャー、国際宇宙ステーションから持ち帰ったガラスボトルを手にするワークショップ。宇宙の映像は迫力満点。
- 13:30 フレベの滝(※)まで散策。知床と宇宙を感じながら歩く！
- 15:00 宇宙や未来への想いを書きとめます。
- 16:00 終了予定



#### ※フレベの滝

知床連山の地下水が断崖から約100m下のオホツク海へ直接注ぐ滝。ホロホロ流れ落ちる様から、別名「乙女の涙」と呼ばれています。冬に凍った姿もまた美しい。滝までの遊歩道では越冬するエゾシカの群れが見られることも。野生動物と知床連山、海と滝…知床の魅力が凝縮されたスポットです。